

IFRS適用による財務情報の価値関連性 —台湾企業における実証的評価—

仲尾次 洋子¹⁾

Value relevance of financial information based on IFRS —Empirical evaluation in Taiwanese companies—

Yoko NAKAOJI¹⁾

要 旨

本稿では、台湾におけるIFRSに基づく財務情報の価値関連性を、Peng and Chenによる実証研究の成果に基づいて考察した。分析の結果、IFRSに基づく財務情報はTGAAPのそれに対して価値関連性において有意ではなかった。また、IFRSによるOCIの構成項目ごとの分析では、為替換算調整勘定に増分情報内容があることが判明した。

キーワード：台湾, IFRS, 価値関連性

Abstract

In this paper, the value relevance of financial information based on IFRS in Taiwan, it was discussed on the basis of the results of empirical research by Peng and Chen.

The results of the analysis, financial reporting based on IFRS was not dominant in the value relevance to that of the TGAAP. In addition, in the analysis of each configuration item of OCI that due to IFRS, it was found that in foreign currency translation adjustments there are incremental information content.

Keywords: Taiwan, IFRS, value relevance

¹⁾ 名桜大学国際学群 〒905-8585 沖縄県名護市為又1220-1 Faculty of International Studies, Meio University, 1220-1, Biimata, Nago Okinawa 905-8585, Japan

1 はじめに

本稿の目的は、台湾におけるIFRSに基づく財務情報の価値関連性を、実証研究の成果に基づいて考察することである。具体的には、Huoshu Peng and Mei-Hui Chen（以下、Peng and Chen）による“A Comparison of the Value Relevance of IFRS with Taiwanese GAAP Accounting Information”を取り上げる。台湾においては、2013年より公開企業等に対して段階的にIFRSが強制適用されている¹。同実証分析は、台湾公開企業の2012年の初度適用時における台湾基準（以下、TGAAP）とIFRSによる調整表を用いて、IFRSに基づく財務情報とTGAAPに基づく財務情報を価値関連性の観点から分析したものである。

IFRS適用後のフィールド調査等によると、台湾におけるIFRS適用は、台湾公開企業が2009年アドプション決定直後に予想したほど困難ではなかったと捉えることができる。例えば、会計基準設定主体・監査人に対するインタビューによれば、10数年に亘るIFRSとのコンバージェンスの経験から、アドプションへの転換は基本的には困難ではなかったとの見解が得られた（仲尾次2015）。また、会計数値への影響を分析した論考においても、IFRS適用により純資産および株価に重大な影響を受けたと判断した企業²は、約1800社の公開企業のうちの約11%であり、純資産の増減率を表明した129社のうち97社は増減率を5%以下としている（荘2013, pp. 60-61）。そこで、本稿では、このような事実を、実証分析をレビューすることにより確認する。

周知のように、日本においては、IFRS適用を見直す議論が重ねられたものの、IFRSの強制適用は見送られ日本基準、米国基準、IFRSおよび修正国際基準（JMIS）が併存する現状にある。とはいえ、日本取引所グループによれば、2015年12月現在、IFRS適用済会社は71社、IFRS適用決定会社25社と2010年3月にIFRSの任意適用が容認されてから増加の一途をたどっている。このような状況において、IFRS適用がいかなる影響をもたらすのかについて、先行国の状況を考察することは日本におけるIFRS適用を考える上で有益な示唆を与えるものと思われる。

2 リサーチ・デザイン

Peng and Chenは、IFRSに基づく財務情報の価値関連性に関する先行研究の結果が混在している、という問題意識のもと実証分析を試みている。また、台湾はIFRS適用の初期段階であることから、仮説を構築せず、リサーチ・クエッション（RQ）を設定し分析を展開している（Peng and Chen p.5）。

(1) 分析モデル

① 企業価値の関連性

RQ 1：IFRSに基づく会計情報はTGAAPに基づく会計情報よりも価値関連性が高いか。

Peng and Chenは、RQ 1をOhlsonモデル（1995）による次のモデルを用いて検証している（Peng and Chen p.6）。

$$\frac{MV_{i,t}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} = \alpha_0 + \alpha_1 \frac{BV_{i,t}^{TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_2 \frac{NI_{i,t}^{TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \sum_k \beta_k Industry_{i,t,k} + \varepsilon_{i,t} \quad (1)$$

$$\frac{MV_{i,t}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} = \alpha_0 + \alpha_1 \frac{BV_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_2 \frac{NI_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \sum_k \beta_k Industry_{i,t,k} + \varepsilon_{i,t} \quad (2)$$

$$\frac{MV_{i,t}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} = \alpha_0 + \alpha_1 \frac{BV_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_2 \frac{CI_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \sum_k \beta_k Industry_{i,t,k} + \varepsilon_{i,t} \quad (3)$$

$MV_{i,t}$: t年度末およびt年度末から3ヵ月後の株価

$BV_{i,t}^{TGAAP}$: t年度末における一株当たり純資産簿価（TGAAP）

$BV_{i,t}^{IFRS}$: t年度末における一株当たり純資産簿価（IFRS）

$NI_{i,t}^{TGAAP}$: t年度における一株当たり税引き後純利益（TGAAP）

$NI_{i,t}^{IFRS}$: t年度における一株当たり税引き後純利益（IFRS）

$CI_{i,t}^{IFRS}$: t年度における一株当たり包括利益（IFRS）

$TA_{i,t-1}^{TGAAP}$: t年度期首における一株当たり総資産（TGAAP）

$\varepsilon_{i,t}$: 誤差項

RQ 1については、Vuong (1989) 検定が用いられている。Vuong検定は、競合する2つのモデルが存在する際のモデル選択の検定方法として用いられる³。Z値が有意に正の値を示した場合、IFRSを選択してTGAAPを棄却したことを示す。

② IFRSによる増分情報

RQ 2：IFRSの包括利益計算書におけるOCI項目の情報は、TGAAPにおける純資産簿価及び利益情報調整後に、増分情報内容を有するか。

$$\frac{MV_{i,t}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} = \alpha_0 + \alpha_1 \frac{BV_{i,t}^{TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_2 \frac{NI_{i,t}^{TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_3 \frac{BV_{i,t}^{IFRS-TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_4 \frac{NI_{i,t}^{IFRS-TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_5 \frac{OCI_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \sum_k \beta_k Industry_{i,t,k} + \varepsilon_{i,t} \quad (4)$$

$$\frac{MV_{i,t}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} = \alpha_0 + \alpha_1 \frac{BV_{i,t}^{TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_2 \frac{NI_{i,t}^{TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_3 \frac{BV_{i,t}^{IFRS-TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_4 \frac{NI_{i,t}^{IFRS-TGAAP}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_5 \frac{OCI_{FrExch}_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_6 \frac{OCI_{AveSaleUnrel}_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_7 \frac{OCI_{OthCIEqt}_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_8 \frac{OCI_{TaxRelOCI}_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_9 \frac{OCI_{PensionRel}_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \alpha_{10} \frac{OCI_{Others}_{i,t}^{IFRS}}{TA_{i,t-1}^{TGAAP}} + \sum_k \beta_k Industry_{i,t,k} + \varepsilon_{i,t} \quad (5)$$

$BV_{i,t}^{IFRS-TGAAP}$: t年度末における純資産簿価のIFRSとTGAAPとの差額

$NI_{i,t}^{IFRS-TGAAP}$: t年度における純利益のIFRSとTGAAPとの差額

$OCI_{i,t}^{IFRS}$: t年度におけるその他の包括利益

$OCI_{FrExch}_{i,t}^{IFRS}$: t年度における為替換算調整勘定

$OCI_{AveSaleUnrel}_{i,t}^{IFRS}$: t年度におけるその他有価証券評価差額金

$OCI_{OthCIEqt}_{i,t}^{IFRS}$: t年度における持分法適用会社に対する持分相当額

$OCI_{TaxRelOCI}_{i,t}^{IFRS}$: t年度におけるOCIに関連する税(効果)

$OCI_{PensionRel}_{i,t}^{IFRS}$: t年度における確定給付に関する保険数理差損益

$OCI_{Others}_{i,t}^{IFRS}$: t年度におけるその他のOCI項目

(2) サンプルデータの選定

サンプルデータは、金融業を除く1,427社から構成される。最終的には、欠損値が観察される企業を除き、TGAAPとIFRSの純利益およびOCI項目が入手できる1,368社である。すべての財務・株価データは、台湾エコノミックジャーナルのデータベース(TEJ)から入手されている。規模の差を調整する

TGAAPとIFRSの主たる相違は、IFRSに基づく財務情報がOCIを含む包括利益計算書を要求するのに対して、TGAAPに基づく財務情報は、OCIを除外した損益計算書のみを表示することにある。RQ 2は、OCI情報が増分情報内容を有するか否かを分析するものである。Peng and Chenは、RQ 2についてモデル(4)を用い、さらに、モデル(5)によりOCIの構成項目ごとの分析を行っている。

ため、すべての変数は2012年期首のTGAAPによる総資産によってデフレートされ、さらに回帰モデルで用いられるダミー変数を除き、各変数は、異常値の影響をコントロールするため、上下1%のデータがウィンソライズされている。表1では、すべての変数に関する記述統計が示されている。

表1 各変数の基本統計量

変数	サンプル数	平均値	標準偏差	25%	中央値	75%
株価 (2012/12)	1368	0.9571	0.9433	0.4173	0.6514	1.1331
株価 (2013/3)	1368	1.0469	1.0765	0.4439	0.6944	1.2131
純資産簿価 (TGAAP)	1368	0.6080	0.2172	0.4685	0.5905	0.7448
純資産簿価 (IFRS)	1368	0.6027	0.2208	0.4611	0.5855	0.7381
純利益 (TGAAP)	1368	0.0315	0.0921	-0.0032	0.0318	0.0765
純利益 (IFRS)	1368	0.0308	0.0921	-0.0066	0.0308	0.0749
包括利益	1324	0.0265	0.0919	-0.0129	0.0246	0.0718
純資産簿価 (IFRS-TGAAP)	1368	-0.0050	0.0179	-0.0081	-0.0032	-0.0003
純利益 (IFRS-TGAAP)	1368	-0.0012	0.0111	-0.0005	0	0.0006
OCI	1316	0.0010	0.0112	-0.0103	-0.0039	-0.0002
為替換算調整勘定	1316	-0.0049	0.0068	-0.0091	-0.0031	0
その他有価証券評価差額金	1316	-0.0055	0.0065	0	0	0.0003
持分法適用関連会社・JVにおけるOCI項目	1316	0.0010	0.0006	0	0	0
OCIに関連する税 (効果)	1316	-0.0001	0.0007	0	0	0.0002
保険数理差損益	1316	0.0003	0.0020	-0.0012	-0.0002	0
その他のOCI項目	1316	-0.0001	0.0002	0	0	0

*すべての変数は、TGAAPによる2012年期末首総資産でデフレートされている。
出所：Peng and Chen pp.18-19

表2 利益・純資産簿価と株価の相関分析

	株価 (2012/12)	株価 (2013/3)	純資産簿価 TGAAP	純資産簿価 IFRS	純利益 TGAAP	純利益 IFRS	純資産簿価 IFRS-TGAAP	純利益 IFRS-TGAAP	OCI
株価 (2012/12)	1	0.976***	0.648***	0.641***	0.520***	0.525***	0.012	-0.028	0.107***
株価 (2013/3)	0.979***	1	0.641***	0.634***	0.518***	0.519***	0.014	-0.048*	0.114***
純資産簿価 TGAAP	0.686***	0.686***	1	0.988***	0.488***	0.491***	0.012	-0.034	0.078**
純資産簿価 IFRS	0.674***	0.674***	0.990***	1	0.4670***	0.485***	0.137***	0.037	0.089***
純利益 TGAAP	0.659***	0.665***	0.459***	0.442***	1	0.978***	-0.100***	-0.123***	-0.03
純利益 IFRS	0.647***	0.650***	0.458***	0.456***	0.974***	1	-0.025	0.046*	-0.031
純資産簿価 IFRS-TGAAP	-0.087***	-0.091***	-0.057***	0.012	-0.142***	-0.119***	1	0.380***	0.086***
純利益 IFRS-TGAAP	-0.004	-0.017	0.009	0.021	-0.044	0.043	-0.109***	1	-0.019
OCI	0.106***	0.101***	0.081***	0.082***	-0.01	-0.018	0.039	-0.043	1

*すべての変数は、TGAAPによる2012年期末首総資産でデフレートされている。

*, **, ***は、両側検定を用い、各々、10%、5%および1%の有意水準であることを示している。

出所：Peng and Chen p.20

表3 2012年年次報告書によるIFRSとTGAAPの価値関連性の比較

パネルA. 回帰分析

変数	式(1)		式(2)		式(3)	
	株価 2012/12	株価 2013/3	株価 2012/12	株価 2013/3	株価 2012/12	株価 2013/3
純資産簿価 (TGAAP)	2.039*** (21.045)	2.314*** (20.575)	—	—	—	—
純利益 (TGAAP)	2.778*** (12.326)	3.116*** (12.100)	—	—	—	—
純資産簿価 (IFRS)	—	—	1.977*** (20.639)	2.260*** (20.298)	1.933*** (19.718)	2.176*** (19.166)
純利益 (IFRS)	—	—	2.884*** (12.631)	3.179*** (12.145)	—	—
包括利益	—	—	—	—	2.907*** (12.566)	3.330*** (12.432)
切片	-0.328*** (-3.623)	-0.392*** (-3.727)	-0.287*** (-3.235)	-0.351*** (-3.353)	-0.263*** (-2.823)	-0.315*** (-2.916)
産業ダミー	あり	あり	あり	あり	あり	あり
調整済み決定係数	0.524	0.507	0.522	0.504	0.522	0.506
サンプル数	1,368	1,368	1,368	1,368	1,324	1,324

*すべての変数は、TGAAPによる2012年期末首総資産でデフレートされている。

() 内は t 値を示す。

*, **, ***は、両側検定を用い、各々、10%、5%および1%の有意水準であることを示している。

出所：Peng and Chen p.21-22

パネルB. IFRSとTGAAPの比較結果

従属変数	独立変数	Vuong検定のZ値	p 値
株価 2012/12	純資産簿価 (IFRS), 純利益 (IFRS) 対 純資産簿価 (TGAAP), 純利益 (TGAAP)	-0.469	0.681
	純資産簿価 (IFRS), 包括利益 (IFRS) 対 純資産簿価 (TGAAP), 純利益 (TGAAP)	-0.488	0.687
株価 2013/3	純資産簿価 (IFRS), 純利益 (IFRS) 対 純資産簿価 (TGAAP), 純利益 (TGAAP)	-0.582	0.72
	純資産簿価 (IFRS), 包括利益 (IFRS) 対 純資産簿価 (TGAAP), 純利益 (TGAAP)	-0.13	0.552

*すべての変数は、TGAAPによる2012年期末首総資産でデフレートされている。

出所：Peng and Chen p.23

表2は、Pearson (右側) とSpearman (左側) の相関分析の結果を示したものである。2012年期末およびその3カ月後の2013年3月の調整済み株価は、TGAAPおよびIFRSによる純資産簿価および純利益と強い正の相関を有していることが分かる。とりわけ、両基準において、株価と純資産簿価との相関係数は、株価と純利益の相関係数と比較してよりポジティブである。たとえば、2012年12月の株価は、TGAAPおよびIFRSによる純資産簿価と0.6以上の正の相関を有するのに対して、株価とTGAAPおよびIFRSによる純利益IFRSとの相関は約0.52である。また、株価とOCIとの相関係数は0.107であり、これに関してPeng and Chenは、有意な正の相関を有しているとするが (Peng and Chen pp.9-10)、一般的には相関関係は弱いと解釈できる。

3 実証結果とインプリケーション

(1) IFRSとTGAAPによる情報の価値関連性に関する比較

RQ 1は、IFRSに基づく財務情報の価値関連性がTGAAPよりも高いか否かを分析することである。表3パネルAは、両基準の純資産簿価、税引き後利益および株価のOLS回帰の結果を示している。Dimitropoulos et al. (2013) に従い、2012年年次報告書公表前と公表後の結果を示している。すなわち、2012年度末およびその3ヶ月後の株価と2012年度の純資産簿価および税引き後利益との相関である。両基準ともに、純資産簿価および税引き後利益は価値関連性を有している。IFRSによる包括利益もまた価値関連性を有している。

表3 パネルBは、IFRSとTGAAPの価値関連性を比較した結果であり、これによると、IFRSに基づく財務情報はTGAAPに対して価値関連性において有意ではなかったことを示している。

(2) TGAAPからIFRSへの純資産簿価および純利益の調整の価値関連性

RQ 2 は、純資産簿価および純利益のTGAAPからIFRSへの調整の価値関連性を分析することである。そのため、IFRSに基づく純資産簿価を、TGAAPに基づく純資産簿価と、IFRSに基づく純資産簿価とTGAAPに基づく純資産簿価との差額に分解している。同様に、IFRSに基づく純利益を、TGAAPに基づく純利益と、IFRSに基づく純利益とTGAAPに基づく純利益純資産簿価との差額に分解している。まず、OCI項目を除く、2012年12月の

株価とIFRSとTGAAPとの純資産簿価および純利益の差額の関係性を分析するために、式(4)が算定される。IFRSへの調整が価値関連性を有するならば、IFRSとTGAAPとの純資産簿価および純利益の差額は、2012年12月の株価と高い正の相関を有する。表4に示すように、IFRSとTGAAPとの純資産簿価の差額の係数は正であるが、2012年12月の株価に関連しては有意ではない。これに対して、IFRSによる純資産簿価とTGAAPによる純資産簿価との差額は、2013年3月の株価と有意に正の相関を有する(係数2.851, P値<0.05)。したがって、投資家は報告された財務諸表の情報を投資意思決定に組み入れるのに時間を必要としていると解釈できる。

さらに、IFRSによる財務情報がOCI項目を含む包括利益計算書を要求することに焦点を当て、IFRSのOCI項目の価値関連性に関して式(4)を用い

表4 2012年年次報告書によるIFRSの調整内容の増分情報

変数	株価 2012/12			株価 2013/3		
	式(4)	式(5)	式(4)	式(4)	式(5)	
純資産簿価 (TGAAP)	2.034*** (20.986)	1.998*** (20.267)	2.004*** (20.256)	2.305*** (20.502)	2.242*** (19.610)	2.252*** (19.618)
純利益 (TGAAP)	2.809*** (12.413)	2.927*** (12.577)	2.974*** (12.773)	3.190*** (12.150)	3.329*** (12.333)	3.376*** (12.494)
純資産簿価 (IFRS-TGAAP)	1.770 (1.601)	1.054 (0.930)	1.262 (1.103)	2.851** (2.223)	2.064 (1.570)	2.351* (1.171)
純利益 (IFRS-TGAAP)	0.340 (0.194)	1.771 (0.983)	1.661 (0.921)	-1.785 (-0.879)	-0.136 (-0.065)	-0.278 (-0.133)
包括利益	—	4.325*** (2.602)	—	—	5.721*** (2.967)	—
OCI・為替換算調整勘定	—	—	11.779*** (4.149)	—	—	14.253*** (4.253)
OCI・その他有価証券評価 差額金	—	—	-1.978 (0.698)	—	—	-1.692 (-0.514)
OCI・持分法適用会社 に対する持分相当額	—	—	-3.882 (-0.124)	—	—	16.020 (0.439)
OCI・関連する税 (効果)	—	—	-7.332 (-0.268)	—	—	-3.030 (-0.095)
OCI・保険数理差損益	—	—	12.402 (1.319)	—	—	14.224 (1.304)
OCI・その他	—	—	57.196 (0.655)	—	—	89.929 (0.887)
切片	-0.319*** (-3.517)	-0.300*** (-3.190)	-0.241** (-2.533)	-0.377*** (-3.584)	-0.345*** (-3.169)	-0.277** (-2.509)
産業ダミー	あり	あり	あり	あり	あり	あり
調整済み決定係数	0.524	0.529	0.533	0.508	0.512	0.515
サンプル数	1,368	1,316	1,316	1,368	1,316	1,316

* すべての変数は、TGAAPによる2012年期首総資産でデフレートされている。

() 内は t 値を示す。

*, **, ***は両側検定を用い、各々10%, 5%および1%の有意水準であることを示している。

出所: Peng and Chen pp.24-26

て分析されている。表4は2012年の包括利益が2012年12月の株価および2013年3月の株価ともに1%の水準で有意に正の相関があることを示している。したがって、投資家がOCI項目に関する情報を株式評価に組み込んでいると解釈できる。

(3) IFRSにおけるOCI構成項目の価値関連性

IFRSにおいて、純利益と包括利益の相違は包括利益にOCI項目を付加した点であり、その構成要素として、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金、持分法適用会社に対する持分相当額、OCIに関連する税（効果）、確定給付に関する保険数理差損益が挙げられる。式(4)の推定結果に基づき、

Peng and Chenは、式(5)を用いて、OCI項目の構成要素が価値関連性を有するかを分析している。表4に示されるように、為替換算調整勘定の係数は、2012年12月（係数=11.779, p値<0.01）および2013年3月（係数=14.253, p値<0.01）の株価と1%水準で強い正の相関を有している。OCIのそれ以外の構成要素はすべて有意ではなかった。

(4) 頑健性分析

分析結果の頑健性を検証するため、2012年期末から4ヵ月後の株価を用いた追加分析が行われている。結果は表5に示すように表4と同様であった。

表5 IFRSとTGAAPの価値関連性の比較：2012年期末から4ヵ月後の株価のケース

変数	式(1)	式(2)	式(3)	式(4)		式(5)
純資産簿価 (TGAAP)	2.257*** (19.770)	—	—	2.248*** (19.698)	2.186*** (18.836)	2.199*** (18.901)
純利益 (TGAAP)	3.453*** (12.984)	—	—	3.471*** (13.008)	3.625*** (13.211)	3.676*** (13.406)
純資産簿価 (IFRS)	—	2.201*** (19.456)	2.125*** (18.400)	—	—	—
純利益 (IFRS)	—	3.453*** (12.963)	—	—	—	—
包括利益	—	—	3.575*** (13.094)	—	—	—
純資産簿価 (IFRS-TGAAP)	—	—	—	2.775** (2.127)	2.015 (1.507)	2.332* (1.729)
純利益 (IFRS-TGAAP)	—	—	—	-2.157 (-1.044)	-0.592 (-0.279)	-0.771 (-0.363)
OCI	—	—	—	—	5.912*** (3.015)	—
OCI・為替換算調整勘定	—	—	—	—	—	15.697*** (4.692)
OCI・その他有価証券評価差額金	—	—	—	—	—	-2.392 (-0.716)
OCI・持分法適用会社に対する持分相当額	—	—	—	—	—	10.005 (0.2070)
OCI・関連する税（効果）	—	—	—	—	—	6.679 (0.207)
OCI・保険数理差損益	—	—	—	—	—	16.004 (1.444)
OCI・その他	—	—	—	—	—	131.185 (1.274)
切片	-0.343*** (-3.209)	-0.301*** (-2.824)	-0.260** (-2.357)	-0.328*** (-3.073)	-0.290*** (-2.618)	-0.215* (-1.921)
産業ダミー	あり	あり	あり	あり	あり	あり
調整済み決定係数	0.498	0.493	0.494	0.499	0.502	0.507
サンプル数	1,369	1,369	1,325	1,369	1,317	1,317

*すべての変数は、TGAAPによる2012年期首総資産でデフレートされている。

()内はt値を示す。

*, **, ***は両側検定を用い、各々10%, 5%および1%の有意水準であることを示している。

出所：Peng and Chen p.26-27

4 むすびに代えて

本稿では、台湾におけるIFRSに基づく財務情報の価値関連性を、Peng and Chenによる実証研究の成果に基づいて考察した。2012年はIFRS第1号により、台湾上場企業がTGAAPとIFRSの両方に基づく年次報告書を提示した比較可能な期間であり、同分析はそれらの価値関連性を比較するものであった。分析の結果、IFRSに基づく財務情報はTGAAPのそれに対して価値関連性において有意ではなかった。また、IFRSによるOCIの構成項目ごとの分析においては、為替換算調整勘定に増分情報内容があることが判明した。Peng and Chenは、このような結果を極めてポジティブに捉えているが(Peng and Chen p.14)、複数のOCI項目のうち、為替換算調整勘定のみが増分情報内容を有することから、投資家がOCI情報を投資意思決定にとって重要ではないと判断していると解釈することも可能であろう。

上述したように、台湾においては、十数年にわたるIFRSとのコンバージェンスの結果、IFRSアドプションへの転換は基本的には困難ではなく、台湾公開企業の株価および純資産においてもそれほど大きな影響はなかったとの調査報告がある。IFRSに基づく財務情報がTGAAPのそれに対して価値関連性において有意ではなかったとする実証分析の結果は、このような報告を裏付けるエビデンスを提供しているのではないだろうか。

注

- 1 台湾におけるIFRSへの対応については、仲尾次(2012) 83-85頁を参照されたい。
- 2 金融監督管理委員会(Financial Supervisory Commission)は、IFRS適用により、純資産・株価に重大な影響が及ぶと企業が判断した場合には、重大速報の公表を義務付けている。
- 3 Vuong検定については、太田浩司・松尾精彦(2005)を参照されたい。

参考文献

- Dimitropoulos, P. E., D. Kousendis, and S. Leventis. (2013). The impact of IFRS on accounting quality : Evidence from Greece. *Advances in Accounting, incorporating Advances in International Accounting* 29 : pp.108-123
- Fan, H., and C, Hsu. (2013). A study on the stock market reaction and the determinants of the adjustments of accounting change from ROC GAAP to IFRS. *Journal of contemporary* 14 (1) : pp.33-56.

Huoshu Peng and Mei-Hui Chen (2014). A Comparison of the Value Relevance of IFRS with Taiwanese GAAP Accounting Information. *Journal of International Accounting Research (JIAR) Conference 2014.*

http://www.af.polyu.edu.hk/files/jiar2014/518_final.pdf (accessed 2015-10-1).

Ohlson, J. A. (1995) Earnings, book values, and dividends in equity valuation. *Contemporary Accounting Research* 11 (2) : pp.662-687.

Vuong, Q. H (1989) Likelihood ratio tests for model selection and non-nested hypotheses. *Econometrica* 57 : pp.307-333.

莊蕎安 (2013) 「採用IFRS的財報告数字面貌」『會計』第326号, 59-65頁。

太田浩司・松尾精彦 (2005) 「Vuong検定によるモデル選択」『會計』第167号第1号, 52-66頁。

仲尾次洋子 (2012) 「台湾におけるIFRSアドプションの課題－台湾企業の事例を手がかりとして－」『會計』第181巻第1号, 82-92頁。

仲尾次洋子 (2015) 「IFRS適用の影響に関する海外調査報告・台湾－会計基準設定主体・会計監査人の見方」『企業会計』第67巻第6号, 106-110頁。

〔付記〕

本研究は、科学研究費補助金(基盤B)「グローバル財務会計基準の導入効果と戦略的適用に関する国際比較研究」(研究代表者:小津稚加子, 課題番号:25301036)および名桜大学総合研究所一般研究(2014年度)の研究成果の一部である。